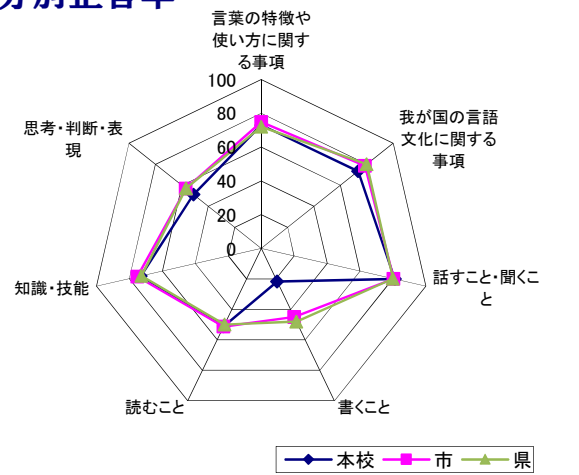


宇都宮市立錦小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

| 分類  | 区分              | 本年度  |      |      |
|-----|-----------------|------|------|------|
|     |                 | 本校   | 市    | 県    |
| 領域等 | 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 73.1 | 74.8 | 72.0 |
|     | 我が国の言語文化に関する事項  | 73.3 | 78.6 | 79.9 |
|     | 話すこと・聞くこと       | 81.1 | 80.4 | 80.0 |
|     | 書くこと            | 21.7 | 45.1 | 48.0 |
|     | 読むこと            | 51.1 | 51.3 | 50.0 |
| 観点  | 知識・技能           | 73.1 | 75.2 | 72.8 |
|     | 思考・判断・表現        | 51.3 | 57.0 | 57.0 |



★指導の工夫と改善

| 分類・区分           | 本年度の状況                                                                                                                                                                | 今後の指導の重点                                                                                                                                                                                           |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 言葉の特徴や使い方に関する事項 | ・平均正答率は、県の平均正答率よりやや高い。<br>○文の中における修飾と被修飾の関係を捉えることができるかどうかをみる問題の正答率は88.9%で、県の正答率を14.8ポイント上回った。<br>●熟語の漢字の組み合わせの種類が同じものを選ぶ問題の正答率は77.8%で、県の正答率を9.5ポイント下回った。              | ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの<br>・熟語の構成を見分けるために、まず熟語を作っている漢字の意味を考え、上下の漢字のどちら側から読むのか、それとも同列の意味をもつのかなどを判断できるようにする。その際、例文も示して覚えやすくする。                                                                      |
| 我が国の言語文化に関する事項  | ・平均正答率は、県や市の平均正答率より低い。<br>●慣用句の意味を理解して、自分の表現に用いることができるかどうかをみる問題の正答率は73.3%で、県の正答率を6.6ポイント下回った。                                                                         | ・日ごろから分からない慣用句が出てきたときに、辞書を引いて調べるようにすることで、言葉の意味を理解するとともに辞書の使い方にも慣れるように指導する。<br>・慣用句を日常生活の中で積極的に使えるよう、さまざまなことわざや慣用句を扱っている本を読むことを推奨する。                                                                |
| 話すこと・聞くこと       | ・平均正答率は、県や市の平均正答率よりやや高い。<br>○司会の役割を果たしながら話し合い、参加者の発言を基に、考えをまとめることができるかどうかをみる問題の正答率は66.7%で、県の正答率を1.9ポイント上回った。                                                          | ・国語の学習だけでなく、学級活動などでも、人の話を聞く楽しさを味わわせ、友達と自分の考え方の共通点と相違点に気付く機会を設ける。また、話し合い活動の際には、そのように考えるようになった過程を大切にしながら聞き合うことで、安心して自分の考えを話せる雰囲気作りをする。                                                               |
| 書くこと            | ・平均正答率は、県や市の平均正答率より低い。<br>●段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書くことができるかどうかをみる問題の正答率は15.6%で、県の正答率を29.9ポイント下回った。また、書くことについての他の問題も正答率が低く、無回答率がいずれも40.0%と高かった。                         | ・作文を書く前に、構成メモを作り、メモを序論・本論・結論の順に並べ替えてから書くように指導する。段落構成を考えて書けるようになってから、指定された長さで作文を書く練習も取り入れる。                                                                                                         |
| 読むこと            | ・平均正答率は、県の平均正答率よりやや高い。<br>○段落の内容ごとのまとまりの分け方として適するものを選ぶ問題の正答率は44.4%と低かったものの、県の正答率を10.3ポイント上回った。<br>●登場人物の性格について、具体的に想像することができるかどうかをみる問題の正答率は40.0%で、県の正答率を15.3ポイント下回った。 | ・国語の読解問題では、長文の一部を切り取って読み取らせる形になっているので、どんな場面が書かれているのか読み取ることが大切であることを指導する。そのために、普段から、いつ、どこで、だれが、何をしたのかを正確に押さえながら読むように指導する。<br>・客観的に登場人物の気持ちが読み取れるよう、登場人物の気持ちを表す言葉(感情を表す言葉、言動、情景描写)を文中から見つける学習を取り入れる。 |